

平成27年度
教育委員会事務事業に係る外部評価表
(平成26年度事業対象)

○実施日 平成27年9月7日(月)午前11時

○場 所 せたな町役場第1会議室

○外部評価委員

瀬棚区本町	鵜入 泰宏
大成区宮野	田嶋 潤 (欠席)
北檜山区松岡	東間千景子 (欠席)
北檜山区豊岡	千葉 憲之

平成27年度せたな町教育委員会実施事業評価一覧表(平成26年度事業対象)

総務・学校教育

事務事業（評価項目）		実施状況	自己評価（成果と課題）	外部評価委員意見	評価	
					H25	H26
1	教育委員の活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員会の開催(14回) ○ 学校訪問(全10校、幼稚園) ○ 全道・管内研修会出席 	<p>委員会での案件審議、学校訪問での意見交換、研修会への参加など活動が円滑に行われた。</p>	自己評価どおりで良い	A	A
2	学校経営の円滑な推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定例校長会議における教育長示達 ○ 各月毎の学校経営の重点及び学校経営報告書の提出 ○ 教育課程の適正な管理及び新学習指導要領の実施 ○ 教職員の服務規律保持の指導 ○ 生涯学習指導主事の学校訪問（各学期毎） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定例校長会議において、教育長示達の中で教育行政執行方針の具現化に努めた。 ○ 各学校から毎月「学校経営の重点と経営報告書」、各学期末には「学校運営に係る自己点検表」、学年末には「教育執行方針達成度調査」の提出を求め、各校の実践事項や実情の把握に努めた。 ○ 小・中学校共に、全面実施となった新学習指導要領の円滑な実施とその充実に努めた。 ○ 教職員の服務規律等の厳守については、定例校長会議・教頭会議の中で資料を用いて指導を行った。 ○ 町生涯学習指導主事の学校訪問は、各学期毎の定期訪問計(30回)、教育局指導主事訪問時(計12回)、必要に応じて随時実施し、各校の学校経営・学習指導・生徒指導等に関わる指導・助言を行った。 	自己評価どおりで良い	B	B
3	学力の向上対策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査及び町独自の標準学力検査を実施 ○ 「せたな町学力向上改善プラン」に基づく学習指導の改善 ○ 読書習慣の確立に向けた取り組みの推進 ○ 家庭と連携した家庭学習の習慣化については、町教委配付の「家庭学習の手引き」、「家庭学習のすすめ」を参考に、各学校で取り組みが進んだ。 ○ 長期休業中や放課後の学習指導、チャレンジテスト問題などの取り組みについても、学校 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査については、採点結果を分析し、日常の学習指導や各学校の「学力向上改善プラン」作成に生かした。 ○ 各学校においては、年度当初実施の標準学力検査や全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、教育委員会作成の「せたな町学力向上改善プラン」をもとに学校独自の「学力向上改善プラン」等を作成し、学習指導等の改善に取り組んだ。 ○ 各校、日課に朝読書の時間を入れるなど、児童生徒の読書活動の習慣化に努めた。 ○ 町教委作成の「家庭学習の手引」や「家庭学習のすすめ」 	自己評価どおりで良い	B	B

		<p>の実態に合わせて行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ チャレンジテストへの全校参加 ○ 久遠小学校へ教員免許を持った学習支援員を配置し、複式学級の指導支援に当たらせてた。 	<p>により、家庭と連携しての取り組みが行われた。また、各校でも、学校独自の手引を作成するなど工夫した取り組みが進められた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ チャレンジテストへの全校参加や、長期休業中の学習日の設定、放課後学習等、学校ごとの実態に応じた工夫をしながら学力向上に取り組んだ。 ○ 学習支援員を配置することで、人数が多い複式学級においての間接授業の際の児童の疑問やつまづきなどに適切に対応することができ、学習理解を深めることが出来た。 			
4	道徳教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳教育推進教師の校務分掌への位置付けと役割の明確化 ○ 「道徳の時間」の改善・充実に向けての指導 ○ 「私たちの道徳」の活用と指導の充実 ○ 参観日等における「道徳の時間」の授業公開 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳教育推進教師については、町内全校で校務分掌に位置付けられ、その役割についても共通理解が図られた。 ○ 「私たちの道徳」を活用した「道徳の時間」の改善・充実については、町内全校において日常実践及び校内研修等で取り組みがされた。 ○ 参観日等における「道徳の時間」の授業公開については、年間計画に位置付けられると共に、授業参観等において公開され、学校と家庭での連携した取り組みが進められた。 	自己評価どおりで良い	B	C
5	特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別支援教育コーディネーターの校務分掌への位置付けと校内支援委員会の開催（全校） ○ 「個別の教育支援計画及び指導計画」の作成の推進 ○ 「特別支援教育支援員」の配置 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育上特別な支援を必要とする児童生徒の指導に関して、各校特別支援教育コーディネーターを中心に校内支援委員会や校内研修会を積極的に開催し、他の職員との共通理解を基に連携して日常生活の指導や学習支援が行われた。 ○ 当該学校では、特別支援学級在籍者を中心に、長期的支援を見据え「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」の作成が進められた。 ○ 教育委員会提供の「児童・生徒の学習・行動面に関する困難を調べるチェックリスト」の活用も進められ、高機能自閉症・LD・ADHDなどの気づきに役立てられた。 ○ 特別支援教育支援員は、町内1園4校に計8名が配置され、特別な支援を要する児童生徒の生活・学習支援を行 	自己評価どおりで良い	A	A

			い、児童生徒のつまづきなどに随時対応することができた。 (北檜山幼稚園 2 名、北檜山小学校 3 名、若松小学校 1 名、瀬棚小学校 1 名、瀬棚中学校 1 名)			
6	外国語指導助手等の派遣	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語指導助手（A L T）の派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各中学校週 1 回以上 火曜日…瀬棚中 水曜日…北檜山中 木曜日…大成中 ・ 馬場川小学校に月 1～2 回派遣 ○ 外国語指導助手（J－A L T）の派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各小学校週 1 回 月曜日…玉川小 火曜日…北檜山小、馬場川小 水曜日…小倉山小、若松小 木曜日…久遠小 金曜日…瀬棚小 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語指導助手（A L T）を各中学校へ週 1 回以上派遣した。A L Tは教科担任と打ち合わせて活動計画を作成し、学習が進められた。 ○ 小学校 5・6 年の外国語活動が必修となったことから、昨年度から独自に J－A L Tを雇用し、各小学校に週 1 回派遣した。指導に当たっては、担任と J－A L Tが打ち合わせて活動計画を作成し、児童が楽しみながら英語の語学力を身につける学習が進められた。 ○ 希望する小学校については、A L Tの空き時間を活用しての追加派遣をし、ネイティブ英語に触れる機会やコミュニケーション能力の育成に努めた。 	自己評価どおりで良い	A	A
7	生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校での全教職員による生徒指導体制の確立 ○ 道教委のスクールカウンセラー派遣（拠点校：北檜山中学校・年 15 日） ○ 生涯学習指導主事への相談（学校訪問及び随時） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校においては、町教委発行のいじめへの対応「教職員ガイドライン」をもとに、管理職を中心に組織的な対応が進められた。 ○ 町教委では「学校不登校対策指導資料」を発行し、不登校対策、中 1 ギャップ、小 1 プロブレム、いじめ対策等の研修と指導を行った。 ○ いじめ対策については、全校で年間最低 2 回の「いじめアンケート」や教育相談が実施され、未然防止・早期発見・早期対応の取り組みが行われた。 ○ 今年度の調査によるいじめ認知件数は 16 件あったが、管理職のリーダーシップの下、組織的に対応し、解決に向けて取り組んだ。 ○ 北檜山中学校への道教委のスクールカウンセラー派遣を継続し、学校と連携して不登校生徒の対応に当たった。 	自己評価どおりで良い	A	A

			<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度の町内の不登校児童・生徒数は、9名(小学校1名、中学8名)であった。 ○ 町教委としては、不登校児童生徒の状況について毎月報告を求め、実態把握に努めるとともに、町指導主事が局の指導主事訪問時や必要に応じて各校を訪れ、いじめ・不登校についての情報収集や対応等について指導助言を行った。 			
8	教職員の資質能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校における校内研修の促進(檜山教育局指導主事及び町指導主事による学校指導訪問) ○ せたな町教育研究会の充実(町教育研究大会の開催、今金町との2町授業交流会、サークル活動の活発化) ○ 町内各種教育団体への支援(生徒指導連絡協議会、特別支援学級教育研究会、へき地複式教育研究会等) ○ 校内研修コーディネーターによる若い教員の研修活動の推進(檜山教育局) ○ 北海道教育研究所、檜山教育局主催の研修講座への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校では、研修部を中心に研修計画が立てられ、それに沿って校内研修が推進された。 ○ 教育局指導主事及び町指導主事による学校指導訪問は、予定どおり進められ、各校の経営状況や児童生徒の実態把握、その後の指導・助言に大いに役立った。 ○ 町教育研究会及び町内各種教育団体の活動は、予定どおり活発に行われ、教職員の資質向上に寄与した。 ○ 今金小学校を本務校として、北檜山小学校と瀬棚小学校を兼務校とする校内研修コーディネーターを中心として師範授業や授業研究、3校の若い先生の合同研修等が積極的に進められ、力量アップが図られた。 ○ 各種研修事業については、道研、ミニ道研、学力向上に関する研修会、生徒指導研などに参加している。 	自己評価どおりで良い	B	B
9	食育教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「栄養教諭を中核とした食育推進事業」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の要望に応じて学校栄養教諭を派遣しての「食に関する指導」 ・ 食生活実態把握のための「アンケート調査」(全校) ・ 食の安全性の認識を図る給食試食会 ○ 児童生徒の学校給食センター見学 ○ 学校給食だよりの発行(毎月) ○ 安全安心な地元食材の活用 ○ 町内のアレルギー児童生徒のデータ収集とアナフィラキシーショック等のアレルギー症状についてのマニュアルの作成と配布 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校や中学校において、栄養教諭による食育教育を中心とした「食の指導」を計画し、児童生徒の食に対する意識を高めた。 ○ 町内全校を対象とし「食に関するアンケート調査」を実施し、児童生徒の食生活の実態や課題が明らかになった。 ○ P T Aや地域と連携した地元食材を使った調理実習も開催されるなど、各校で工夫された食育教育が推進された。 ○ アレルギー児童生徒の情報を共有することで、給食センターと学校の連携を深めるとともに、アレルギーへの理解や事故の未然防止、事故が起きた際の対応等について 	自己評価どおりで良い	A	A

		○ せたな町食育推進検討委員会の開催	<p>の職員研修に役立った。</p> <p>○ せたな町食育推進検討委員会において、児童生徒の食に関する意識を高める方策について充実した話し合いを進めることができた。</p>			
1 0	幼児教育の充実	平成 26 年度入園児童数 33 名 (3 歳児 13 人 4 歳児 11 人 5 歳児 9 人)	園生活を通して友だちと係わりながら基本的な生活習慣や道徳性を身につけるなど、就学前幼児教育がなされている。また、特別支援を必要とする園児には、保護者の同意を得ながら特別支援教育支援員 2 名を配置し、個に応じた支援を行った。	自己評価どおりで良い	A	A
1 1	学校健診事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒内科検診 526 名実施 ○ 児童生徒尿検査 516 名実施 ○ 児童寄生虫卵検査 157 名実施 ○ 児童生徒歯科検診 524 名実施 ○ 児童生徒心臓（心電図）検診 105 名実施 ○ 児童生徒耳鼻咽喉科検診 311 名実施 ○ 中体連駅伝選手心臓検診 54 名実施 ○ 児童生徒眼科検診 518 名実施 	学校と関係機関との連携の下で、学校保健法に定められている各種健診を計画的に実施し、児童生徒の健康管理に努めた。	自己評価どおりで良い	A	A
1 2	地域に開かれた学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経営方針の説明、学校だよりの配付 ○ 学校評議員の委嘱 ○ 学校関係者評価委員による学校評価 ○ 学校支援地域ボランティアの人材を外部講師として招聘 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各校では、年度当初の参観日等で経営方針の説明を行うとともに、学校だより等で日常の児童生徒の様子を保護者や地域に知ってもらえるよう努めた。 ○ 学校評議員・学校関係者評価委員の視点から、学校経営等について意見をいただき、地域の意向を把握した学校運営が行われた。 ○ 学校支援地域ボランティアについても、各校の計画に沿って積極的に活用された。 ○ 学校評価については、自己評価（学校評価、児童・生徒評価、保護者評価等）や学校関係者評価が実施され、それらの結果については、PTAや参観日、学校だより等を用いて公表された。 	自己評価どおりで良い	A	A
1 3	子どもの安全確保	○ 各学校での「危機管理マニュアル」及び「火災や地震時の防災訓練」の点検・見直し、及び学校の立地条件に応じた火災・地震・津	○ 町教委発行の「学校危機管理の分類表」及び「危機管理資料（各校の標高・海岸からの距離）」をもとに、各学校における「危機管理マニュアル」	自己評価どおりで良い	A	A

		<p>波・洪水などの実践的な対処や訓練が実施されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全教室・防犯教室・薬物乱用防止教室等の実施。 ○ 各区毎に地域の関係機関・団体との情報交換を行い、町内安全パトロールの実施。 (子どもの安全を守る連絡協議会～夏休み前に開催) (生徒指導連絡協議会～各学校の決まり確認、子どもの様子等の情報交流、研修会の開催) ○ 各学校の通学路の安全点検を随時実施。 	<p>の点検と見直しが行われ、災害時における立地条件に即した対処・訓練が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校では、防犯訓練・防犯教室など実際の場面に即した訓練を実施することで、危機管理下における児童生徒の安全確保を図った。 ○ 各区内の関係機関・団体と連携しながら、登下校時や帰宅後の安全指導及び祭典時の巡回指導などに努めた。 ○ 防災無線を活用し、不審者情報の提供を行った。 			
1 4	児童生徒への就学援助	<ul style="list-style-type: none"> ○ 要保護世帯 小学生 5世帯 5名 中学生 7世帯 8名 計 12世帯 13名 ○ 準要保護世帯 小学生 31世帯 40名 中学生 28世帯 29名 計 59世帯 69名 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校と連携のもとで、経済的援助を必要とする世帯に対して学用品費・修学旅行費等への支援を行った。 	自己評価どおりで良い	A	A
1 5	学校教育環境の整備充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 久遠小学校屋上フェンス撤去工事 ○ 久遠小学校暖房ボイラー煙道改修工事 ○ 瀬棚小学校受変電設備改修工事 ○ 瀬棚小学校校舎外壁改修工事 ○ 瀬棚中学校校舎耐震改修工事 ○ 瀬棚中学校屋内運動場耐震改修工事 ○ 瀬棚中学校屋内運動場外壁改修工事 ○ 瀬棚中学校給水管取替工事 ○ 瀬棚中学校校舎一階屋上防水改修工事 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 老朽化が進んでいる学校はあるが、児童生徒が安全安心な学校生活を送るため、必要箇所の修繕については随時実施し適正な維持管理に努めた。 	自己評価どおりで良い	B	B

16	教育の情報化の推進	<p>○ ICT機器導入に係る打ち合わせ会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内各校から2名以上の教員に出席していただき、4つのグループに分かれて現状と課題について情報交換を行うとともに、要望の取りまとめを行った。 ・協議結果を各学校にフィードバックし、個別の体制整備について協議した。 	<p>○ 今後導入する情報設備や情報機器について、平成27年度～平成29年度の3か年の計画を作成するとともに、整備学校からの意見を聴取するなど、随時計画見直しができる体制整備が図られた。</p>	自己評価どおりで良い	B	B
<p>(評価指標) A 十分達成されている B おおむね達成されている C やや不十分である D 不十分である</p>						

社会教育・社会体育

事務事業（評価項目）		実施状況	自己評価（成果と課題）	外部評価委員意見	評価	
					H25	H26
17	生涯学習講座 （青少年健全育成）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 薬物乱用防止教室（7/16 北檜山中学校） ○ 性教育講話（9/18 北檜山中、10/30 瀬棚中） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の生活課題や発達段階に合わせたプログラムが継続的に取り組まれた。 	自己評価どおりで良い	B	B
18	生涯学習講座 （地域課題解決）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域子育て。～ブックスタートの活用～（6/30 21名参加） ○ 地域子育て。～望ましい食生活～（12/6 63名参加） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの社会教育事業へ参加したことがない方の参加も見られたり、もっとここを詳しく聞きたいなどの要望も見られた。参加者がより専門的な知識を得ることや自分の考えに納得したり、他の人の意見を受け入れることができたり、充実した研修会になっている。 ○ 町教委からのアプローチだけでなく、地域住民自ら学びたいという気持ちが見えてきているので、地域住民が主体となって行動していくようサポート体制をとっていきたい。 	自己評価どおりで良い	B	B
19	学校開放講座	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大成中学校開放講座「小学生水泳教室」（3回 受講者11名） ○ 北檜山小学校開放講座「陶芸教室」（4回 受講者12名） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 専門的な知識、多様な技を持っている教諭に協力してもらい、住民への学びの場に幅を持たせる事業であるが、学校を開けた場所にするという目的は達成できていない。 	自己評価どおりで良い	B	B
20	ふるさと学習講座	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然観察会（5/24 大成区 参加者11名） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 例年実施されていた渡り鳥観察会は、講師の都合により中止としたため、大成区のみで開催となった。 	自己評価どおりで良い	B	C
21	学びあいネットワーク交流事業 地域学習の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 若松地区女性会「タイルクラフト教室」（5/25 参加者8名） ○ 若松地区女性会「押し花教室」（8/29 参加者8名） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら学ぶ機会を作り、住民が相互に学び合う環境が作れた。 ○ 地域団体の充実、また更なる発展が見込まれる事業となっている。 	自己評価どおりで良い	B	B
22	学校支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北檜山区地域ボランティア連絡協議会（小学校4校 中学校1校 27プログラム） ○ 大成区地域ボランティア連絡協議会（小学校1校 中学校1校 20プログラム） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域のボランティアを通じて、学校が授業を行うなど地域と学校の連携が図られた。 ○ ボランティアも毎年数人ではあるが増加しており、多様な知識や経験を持つ地域の方の協力を得 	自己評価どおりで良い	A	A

		○ 瀬棚区地域ボランティア連絡協議会 (小学校2校 中学校1校 28プログラム)	られている。			
23	P T A団体・女性団体等への支援	○ P T A連合会 (団体支援 補助金 190 千円 10 団体加盟) ○ 女性団体連絡協議会 (団体支援 補助金 340 千円 会員数 210)	○ P T A団体については、事業自体は円滑に運営されているが、町補助金申請が遅滞するので指導が必要 ○ 女性団体は、属している会の衰退があり、北檜山区女連協の脱退、また会の高齢化などが課題となっているが、団体の活動は活発で、町として女性の活躍が期待できる事業となっている。	自己評価どおりで良い	B	B
24	高齢者大学	○ 北檜山いきがい学園 (学生数 67 名) ○ 瀬棚寿大学 (学生数 11 名) ○ 大成くおん大学 (学生数 25 名) 合同事業 ○ 入学式・記念講演会 (5/20 参加者 90 名) ○ 修学旅行 (7/17~18 札幌市 参加者 28 名) ○ 修了式・記念講演会 (2/25 参加者 88 名)	○ 各区それぞれの特色を活かした活動が計画的に進められている。 ○ 学生の要望や社会情勢の動きを取り入れたプログラムが実施され、充実した学習機会の場となっている。 ○ 合同事業も定着し、区を越えた学生相互の交流が図られている。	自己評価どおりで良い	A	A
25	青少年教育施設 女性教育施設	○ 北檜山区 ・ 青少年女性研修所 2,551 名 ・ 郷土資料館 168 名 ○ 大成区 ・ 青少年会館 2,089 名 ・ 大成郷土館 77 名 ○ 瀬棚区 ・ 児童会館 5,886 名 ・ 瀬棚郷土資料館 381 名	○ 各施設とも有効に利用されている。	自己評価どおりで良い	B	B
26	読書活動の推進に関する取り組み	○ 北檜山区 ・ 情報センター/蔵書 22,092 冊 おはなし広場等集会 12 回、移動図書教室 12 回、特別展、古本市など 貸出 7,669 冊 ○ 大成区 ・ 大成図書館/蔵書 28,220 冊 集会 4 回、読み聞かせ 10 回、移動図書教	○ 図書館、図書室との連携事業を始め、ブックスタートや読み聞かせに力を入れており、読書活動を推進するボランティアや職員の資質向上を目指す研修会も実施し、更なる読書活動の推進を目指している。	自己評価どおりで良い	A	A

		<p>室 12 回、特別展など 貸出 4,353 冊</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 瀬棚区 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書センター/蔵書 10,041 冊 移動図書 12 回、展示会 3 回、古本市、特別展など 貸出 3,5778 冊 ○ ブックスタート事業 (10 回 対象者 32 名 ボランティア 14 名) 				
27	児童生徒宿泊研修事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ フロントニアアドベンチャー (8/1~3 札幌市・留寿都村 町内小学生 31 名・檜山北高生 6 名・養護教諭 1 名・引率者 3 名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定員を上回るほどの好評な事業となっており、高校生サブリーダーの要請において、檜山北高校に全面的な協力をもらい定着してきている。 ○ 当初の目的は達成したことから、フロントニアアドベンチャー事業は終了とし、時代にあった新たな事業を創造したい。 	自己評価どおりで良い	A	A
28	休日活動の促進 放課後対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ プールでOPヨット体験 (瀬棚区 参加者 4 名) ○ カヌー川下り体験 (瀬棚区 参加者 8 名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ヨット・カヌーの体験をすることができた。 ○ 実践にあたり、海洋クラブからの協力が得られ、子どもとの交流が図られた。 	自己評価どおりで良い	B	B
29	子ども育成会等青少年育成 団体への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども育成会連絡協議会 (団体支援 補助金 150 千円) ○ 親子ふれあい推進事業 「第 20 回ミニミニ大運動会」 (2/22 大成区 参加者 56 名) ○ 第 9 回せたな町子連子どもカルタ大会 (1/11 参加者 9 団体 14 チーム 45 名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 休日を活用し、室内レクリエーションを中心とした児童生徒の健康づくり活動を進めるとともに、親子のふれあいや他団体との交流を深め、地域連帯感の高揚が図られた。 	自己評価どおりで良い	C	C
30	趣味教養講座	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども英会話教室 (受講者 4 名) ○ 初心者英会話教室 (受講者 14 名) ○ 新春書初め大会 (参加者 13 名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども英会話教室については、参加者が少なく、途中で講師が変わったものの子供たちは英語を楽しく学び、それが定着している様子が伺えた。来年度以降は補助ボランティアが必要だと思われる。 ○ 初心者英会話教室については、和やかな雰囲気の中、レベルの高い英会話飛び交っていると共に、コミュニケーションの場としても活用されており、住民の学びの充実が見受けられる。 	自己評価どおりで良い	B	B

3 1	文化団体 町民文化祭実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化協会 (団体支援 補助金 200 千円) ○ 町民文化祭実行委員会 (団体支援 補助金 415 千円) ○ 文化祭開催 北檜山会場 (展示 11/1~2 芸能 11/16) 大成会場 (展示 11/1~3 芸能 11/8) 瀬棚会場 (展示 11/1~3 芸能 11/9) 	○ 文化活動者の発表機械の場として計画的に実施されている。	自己評価どおりで良い	A	A
3 2	芸術鑑賞機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化講演会「新井満 千の風から希望の木へ」 (ふれあいプラザ 250 名) ○ 芸術鑑賞会「京都大学交響楽団演奏会」 (北檜山中学校 600 名) ○ 芸術鑑賞会「北海道人形劇フェスティバル」 (ふれあいプラザ 500 名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近年で計画的な芸術鑑賞機会が提供できている。 ○ 町民のニーズが高いことから継続して実施していきたい。 	自己評価どおりで良い	A	A
3 3	文化財の保護・活用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有形文化財 青い目の人形(北檜山区) 阿波浄瑠璃人形(北檜山区) 明珍信家作兜(北檜山区) 荻野吟子遺品・資料(瀬棚区) 南川遺跡出土の遺物(瀬棚区) ○ 無形文化財 久遠神楽(大成区) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化財の保護・活用に努めている。 ○ 人形劇フェスティバルで阿波浄瑠璃人形を活用し住民にお披露目することができた。 	自己評価どおりで良い	B	B
3 4	郷土芸能団体への支援	○ 郷土芸能団体連絡協議会 (団体支援 補助金 191 千円)	○ 各団体が積極的な各種イベントへの参加による自主活動(発表)が行われている。	自己評価どおりで良い	B	B
3 5	健康づくり促進事業	○ 町民歩こう会(10/12 参加者 22 名)	○ 秋の健康づくり促進に向けた取り組みとして継続的に実施されており、一定の成果が出ている。	自己評価どおりで良い	B	B
3 6	健康づくり講座	○ らく楽アンチエイジング体操(1/31 参加者 35 名)	○ 体力向上、健康増進及びトレーニングに関する基礎知識の向上が図られた。	自己評価どおりで良い	A	B

37	町民スポーツ大会 区民スポーツ大会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町民ソフトボール大会 (9/28 出場 5 チーム) ○ 町民駅伝大会 (10/4 出場 19 チーム 82 名) ○ 子ども体力チャレンジ祭り (1/14 小学生ほか 79 名参加) ○ 大成スキー大会 (1/24 参加者 49 名) ○ 町民スキー大会 (2/8 参加者 34 名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画通りに進められている。 ○ スポーツ活動の促進が図られている。 	自己評価どおりで良い	A	A
38	各種スポーツ教室の開催	<ul style="list-style-type: none"> ○ プールで OP ヨット体験会 (6/28 参加者 4 名) ○ 少年少女水泳教室 (北檜山区・瀬棚区 参加者 35 名) ○ 初心者スキー教室(北檜山区 参加者 21 名) ○ スキー教室 (大成区 参加者 44 名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業は計画通りに実施された。 ○ 水泳教室については大変要望の高い教室となっている。 	自己評価どおりで良い	A	A
39	スポーツ団体等への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育協会 ○ スポーツ少年団 ○ 合宿招聘事業 ○ スポーツフェスタ実行委員会 ○ B&G海洋クラブ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各団体それぞれで計画的な活動が行われている。 ○ 団体運営に対する活動補助支援が継続的に進められている。 	自己評価どおりで良い	B	B
40	学校施設開放事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校施設の開放 北檜山区 1 施設 2 団体 大成区 4 施設 7 団体 瀬棚区 該当団体なし 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 効果的な開放事業となっており、住民の活動拠点となっている。 	自己評価どおりで良い	B	B
41	海洋リーダー派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道大会「水上の部」 (8/3 滝川市 7 名参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画通り実行された。 	自己評価どおりで良い	B	B
42	スポーツ施設の整備充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北檜山スポーツ公園防球ネット張替工事 ○ 北檜山スポーツ公園南側グラウンドフェンス取替工事 ○ 大成プール改修工事 ○ 町民体育館トレーニングルーム屋上防水改 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各施設とも、住民の活動拠点として効果的に利用されている。 	自己評価どおりで良い	B	B

		修工事 <input type="checkbox"/> B&G 海洋センタープールアルミ製建具取替修繕 <input type="checkbox"/> B&G 海洋センター艇庫上吊戸ローラー修繕 <input type="checkbox"/> B&G 海洋センター武道館遠赤外線放射暖房機修繕 <input type="checkbox"/> 大成農村広場バックネットフェンス改修 <input type="checkbox"/> せたな町民体育館渡り廊下階段部修繕 <input type="checkbox"/> 大成スキー場第1キャリエースワイヤーロープ交換修繕 <input type="checkbox"/> 町民体育館トレーニング室クロス修繕 <input type="checkbox"/> 大成農村広場照明灯修理				
4 3	国際交流のつどい	<input type="checkbox"/> ホストファミリー対面式 <input type="checkbox"/> 町内見学 <input type="checkbox"/> 歓迎パーティー <input type="checkbox"/> 学校交流（北檜山・若松） <input type="checkbox"/> 合同学校交流（玉川・小倉山） <input type="checkbox"/> いきがい学園クラブ活動への参加 <input type="checkbox"/> 勾玉造り体験	<input type="checkbox"/> 留学生の活動プログラムを通して、異文化交流が図られた。 <input type="checkbox"/> 町内の子どもから高齢者まで、国際交流が図られた。	自己評価どおりで良い	B	B
4 4	姉妹都市交流推進協議会	<input type="checkbox"/> 姉妹都市交流推進協議会総会 <input type="checkbox"/> ハンフォード市訪問団受入事業中止 <input type="checkbox"/> ハンフォード市訪問団派遣事業中止 <input type="checkbox"/> 町民文化祭作品展示の部へ出展 <input type="checkbox"/> ジョン神塚ピアノコンサート延期	<input type="checkbox"/> ハンフォード側の希望者が集まらず、受入事業が中止となり、受け入れ体制が整わず派遣事業が中止となった。また、ジョン神塚氏の都合でピアノコンサート開催が延期となった。 <input type="checkbox"/> 町民文化祭作品展示の部で3会場にてハンフォード市との交流写真を展示し、PR活動を行った。	自己評価どおりで良い	A	D
(評価指標) A 十分達成されている B おおむね達成されている C やや不十分である D 不十分である						